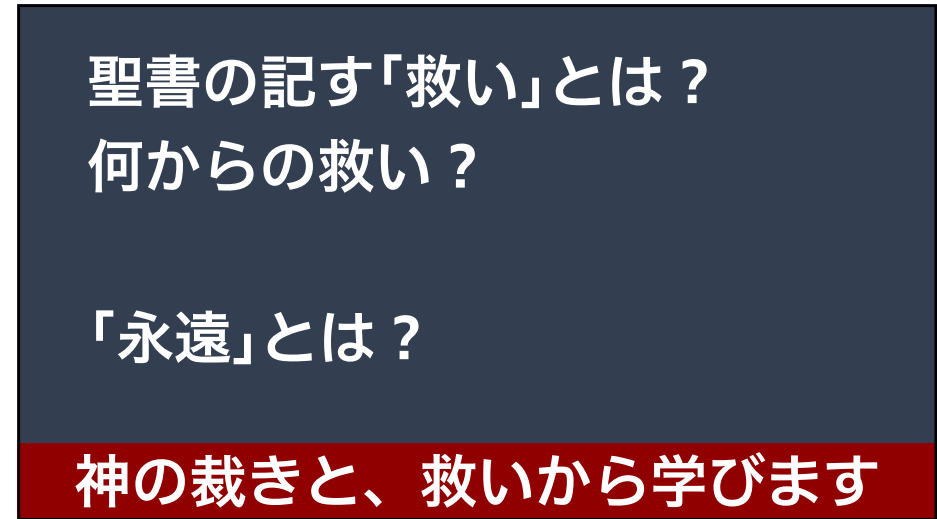




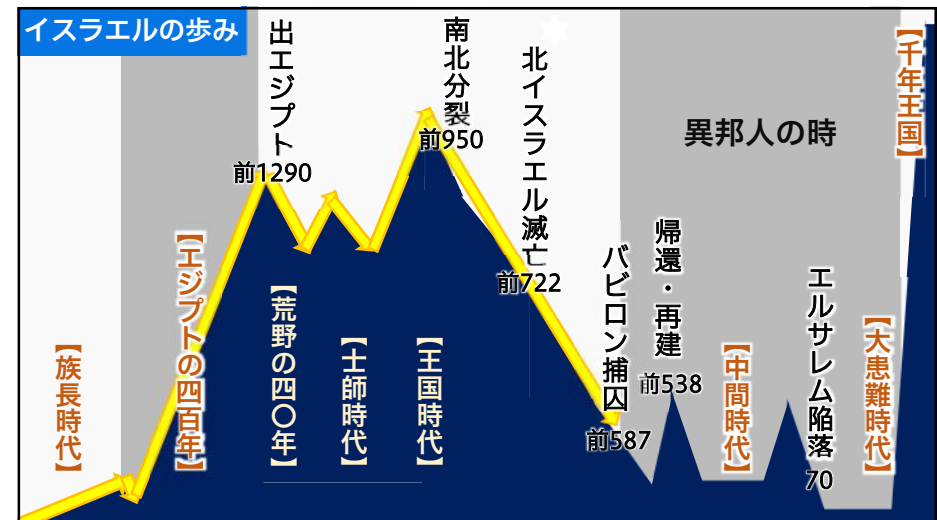
9



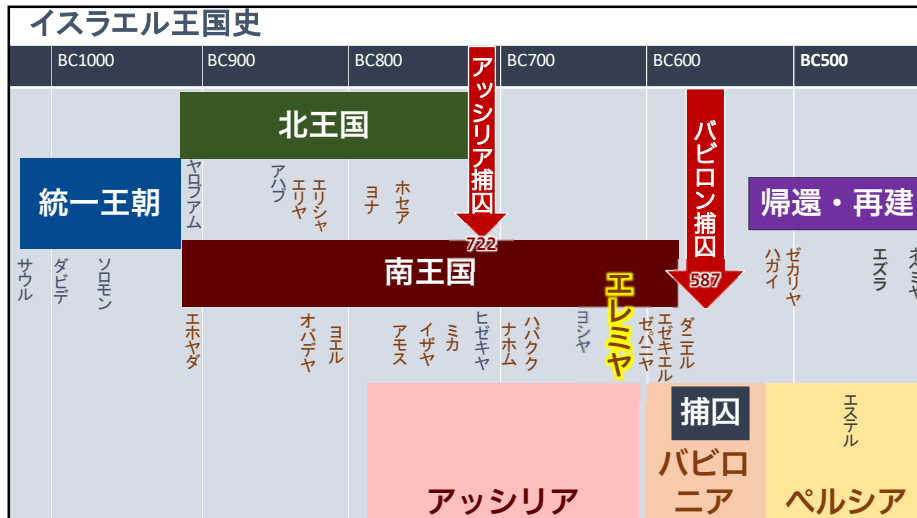
10



11



12

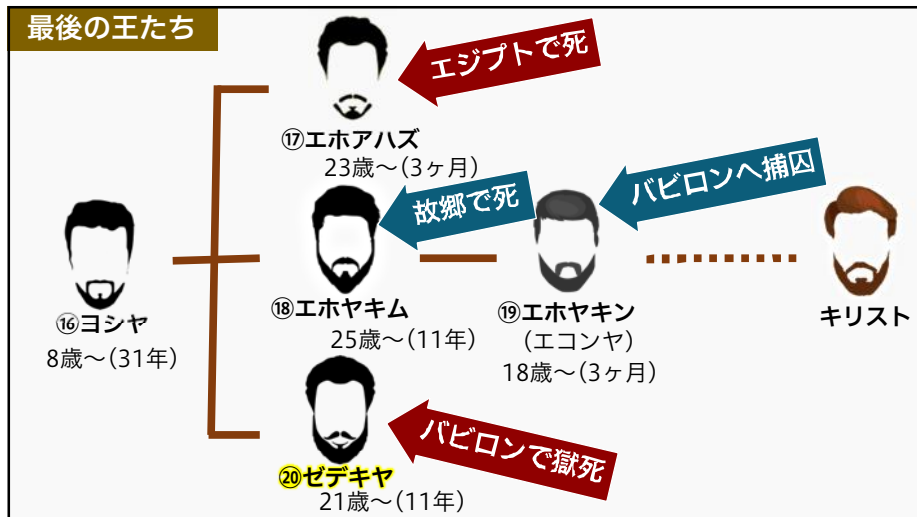


13

バビロニア年代記・ネブカドネツアル王のユダ侵略

- BC605 …ネブカドネツアルが、初めてエルサレムに侵攻。
第一次バビロン捕囚 …ダニエル
- BC597 …エホヤキンの時、エルサレムを包囲、占拠。
 有能な市民をバビロンに連れ去る。ゼデキヤを傀儡に。
第二次バビロン捕囚 …エホヤキン王、エゼキエル
- BC589 …反逆したゼデキヤに対して、再びエルサレムを包囲。
- BC587(586) …エルサレム陥落。完全な壊滅。神殿も破壊。
 エルサレムの住民の多くが捕囚としてバビロンへ。
第三次バビロン捕囚 …ゼデキヤ王

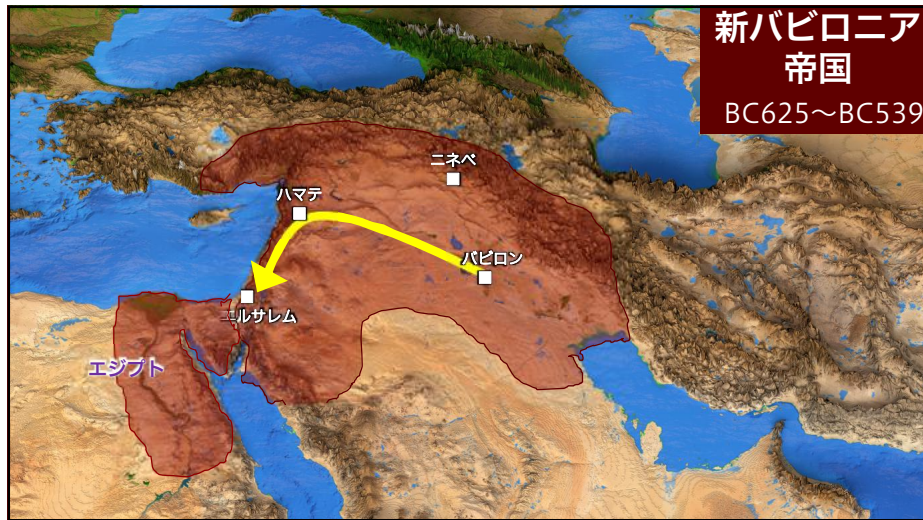
14



15



16



17

①拒絶と滅び エルサレム包囲 39:1

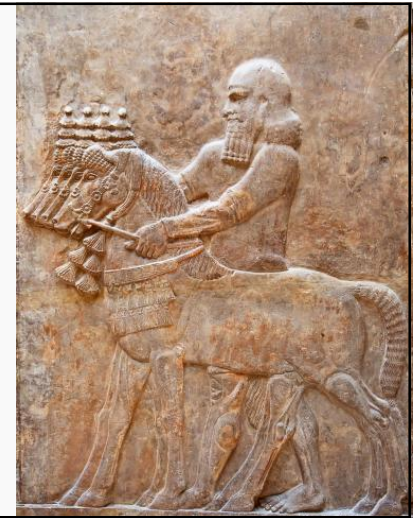
ユダの王ゼデキヤの第九年*、第十の月に、バビロンの王ネブカドネツアルは、その全軍勢を率いて*エルサレムに攻めて来て、これを包囲した。

*BC589 エルサレム包囲

*大国が全軍勢で侵攻

…エルサレムは大陸間の要衝

その先のエジプト征服を意識



18

①拒絶と滅び 陥落 エレ39:2

ゼデキヤの第十一年、第四の月の九日に、都は破られ、バビロンの王のすべての首長たちが入って来て、中央の門のところに座を占めた。すなわち、ネルガル・サル・エツェル、サムガル・ネブ、ラブ・サリスのサル・セキム、ラブ・マグのネルガル・サル・エツェル、およびバビロンの王の首長の残り全員である。

*BC586…エルサレム陥落

2年の包囲で食糧も尽きて(Ⅱ列25:3)



19

①拒絶と滅び 王の逃亡 エレ39:4

ユダの王ゼデキヤとすべての戦士は、彼らを見ると逃げ、夜の中に、王の園の道伝いにある、二重の城壁の間の門を通過して都を出て、アラバへの道*に出た。

*死海に下っていく道

■ 敵に見つかっていない抜け道から外へ。

南下してエジプトに向かおうとした?!



20

①拒絶と滅び 王の捕縛 エレ39:5

カルデアの軍勢は彼らの後を追ひ、エリコの草原でゼデキヤに追いつき、彼を捕らえ、**ハマテ***の地のリブラにいるバビロンの王ネブカドネツアルのもとに連れ上った。バビロンの王は彼に宣告を下した。

*北方のシリアにある古代からの都市
バビロニアが西方遠征の拠点としていた。



21

①拒絶と滅び 虐殺 エレ39:6~7

バビロンの王はリブラで、ゼデキヤの息子たちを彼の目の前で虐殺し、ユダのおもだった人たちもみな虐殺した。

さらに、バビロンの王はゼデキヤの目をつぶし、バビロンに連れて行くため、彼に青銅の足かせをはめた。

■ゼデキヤが最後に目にしたのは、
息子たちの虐殺される姿。

→死ぬまで獄中に!!



22

①拒絶と滅び 捕囚 エレ39:8~9

カルデア人は、王宮も民の家も火で焼き、エルサレムの城壁を打ち壊した。

親衛隊の長ネブザルアダンは、都に残されていた残りの民と、王に降伏した投降者たちと、そのほかの残されていた民を、バビロンへ捕らえ移した。

■都のおもだった人々は虜囚となり、
バビロンに強制連行された。

■神殿は完全に破壊。祭具は略奪。
青銅は砕かれ、運び出された。



23

①拒絶と滅び 残された貧民 エレ39:10

しかし、親衛隊の長ネブザルアダンは、何も持たない貧しい民の一部をユダの地に残し、同時に彼らにぶどう畑と畑地を与えた。

■残されたのは貧しい者たちと荒れ果てた地。
わずかな収穫の多くは、バビロニアに収奪。

数百年間、主を拒み続けたイスラエルに
主が警告された通りの裁きが下った



24

①神は拒む者を裁かれる

- イスラエルは、神の律法を破り、神に背き、偶像を拝んだ。
- 数百年に渡る神の警告に耳を傾けず、預言者たちを迫害した。直前まで警告し続けたエレミヤにも耳を貸さず、幽閉した。
- 主は、バビロニアを裁きの器として用いられた。エルサレムは徹底的に破壊され、ゼデキヤ王と都の人々は捕囚として強制連行された。

バビロン捕囚によって ついに神の裁きは下された

25



②神は信じる者を救われる

エレミヤ書39章11～18節

復元されたバビロン

26

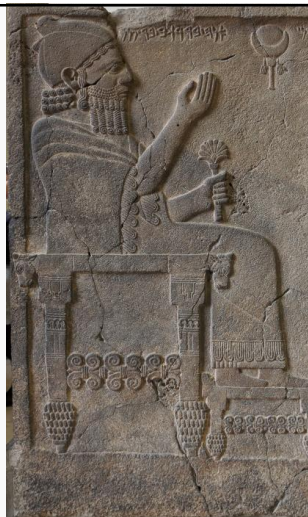
②信仰と救い 王の命令 エレ39:11～12

バビロンの王ネブカドネツアルは、エレミヤについて、親衛隊の長ネブザルアダンを通して次のように命じた。

「彼を連れ出し、目をかけてやれ。何も悪いことをするな。ただ彼があなたに語るとおりに*、彼を扱え。」

*エレミヤが希望するままに

- 帝国の王が、一人の虜囚に目をとめた。
- 背後に働かれているのは神の御手



27

②信仰と救い 解放 エレ39:13～14

こうして、親衛隊の長ネブザルアダンと、ラブ・サリスのネブシャズバンと、ラブ・マグのネルガル・サル・エツェルと、バビロンの王のすべての高官たちは、人を遣わして、エレミヤを監視の庭から連れ出し、シャファンの子アヒカムの子ゲダルヤ*に渡して、家に連れて行かせた。こうして彼は民の間に住んだ。

*エレミヤの最後の御告げの証人(38:1)

*エレミヤは捕囚を逃れ、約束の地に住んだ。



28

②信仰と救い 主のことば エレ39:15～16

エレミヤが監視の庭に閉じ込められているとき、エレミヤに次のような【主】のことばがあった。

「行って、クシュ人エベデ・メレク*に言え。

『イスラエルの神、万軍の【主】はこう言われる。見よ、わたしはこの都にわたしのことばを実現させる。幸いのためではなく、わざわざのためだ。それらはその日、あなたの前で起こる。

■ゼデキヤ王に仕えていたエチオピアの宦官。
命がけで王に進言、エレミヤを救った(38章)



29

②信仰と救い 主の報い エレ39:17～18

しかしその日、わたしはあなたを救い出す—【主】のことば—。あなたは、あなたが恐れている者たちの手に渡されることはない。

わたしは必ずあなたを助け出す。あなたは剣に倒れず、あなたのいのちは戦勝品としてあなたのものになる。あなたがわたしに信頼したからだ—【主】のことば。』」

■神を恐れる異邦人だったエベデ・メレク。
ただ主に信頼して、救い出された。



30

②神は信じる者を救われる

- 残されたイスラエルの信仰者、預言者エレミヤは、最後まで忠実に、主の御言葉を王と民に告げ続けた。
 - ➔エルサレム陥落のただ中でも守られ、軟禁状態から解放され、家に帰り、民の間に住んだ。
- 残された異邦人の信仰者、エベデ・メレクは、主を恐れ、命がけで王に進言し、エレミヤの命を救った。
 - ➔バビロニアの虐殺からも守られ、解放された。

イスラエルも異邦人も 主を信じて救われる

31



③永遠の滅びか 永遠の命か

再現されたバビロンの町並み

32

バビロン捕囚は、世の終わりの裁きを示す影

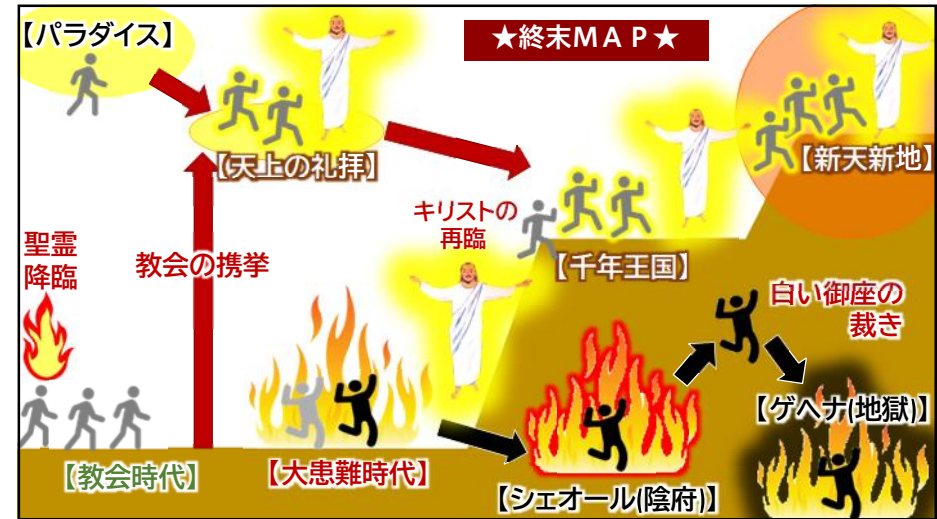
■ 捕囚民ダニエルが告げた世の終わりの裁き ダニエル12:1～3
その時、あなたの国の人々を守る大いなる君ミカエルが立ち上がる。国が始まって以来その時まで、**かつてなかったほどの苦難の時**が来る。しかしその時、あなたの民で、あの書に記されている者はみな救われる。

ちりの大地の中に眠っている者のうち、多くの者が目を覚ます。ある者は**永遠のいのち**に、ある者は恥辱と、**永遠の嫌悪**に。

賢明な者たちは大空の輝きのように輝き、多くの者を義に導いた者は、世々限りなく、星のようになる。

永遠のいのちか 永遠の滅びか

33



34

世の終わりの大バビロンの裁き

- 教会の携挙の後、7年間の大艱難時代に突入。
- 後半、反キリストによるイスラエルと信仰者への大迫害が。反キリストの建てた**大バビロン**が世界を支配。
- 最終戦争(ハルマゲドン)が、反キリストによって勃発。民族殲滅の危機に、残されたイスラエルが民族的回心。
- 再臨の主イエスにより、**大バビロン**は滅亡。反キリストも滅ぶ。神の国(千年王国)が建てられ、復活した信者が招き入れられる。

35

大バビロンへの神の裁き

■ 黙示録14:6～8

「また私は、もう一人の御使いが中天を飛ぶのを見た。彼は地に住む人々、すなわち、あらゆる国民、部族、言語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音を携えていた。彼は大声で言った。「神を恐れよ。神に栄光を帰せよ。神のさばきの時が来たからだ。天と地と海と水の源を創造した方を礼拝せよ。」

また、その御使いの後にもう一人、第二の御使いが来て言った。「倒れた、倒れた、**大バビロン**が。御怒りを招く淫行のぶどう酒を、すべての国々の民に飲ませた都が。」

36

神の永遠の王国に入るためには？

「しかし、すべての汚れたもの、また忌まわしいことや偽りを行う者は、決して都に入れない。入ることができるのは、**子羊のいのちの書**に記されている者たちだけである。黙21:27」

■神の永遠の王国に入ることができるのは、神の国の国民だけ。

→神の国の国民名簿が、「**子羊のいのちの書**」

→「**子羊**」とは、十字架で犠牲となられた、神の御子**イエス**

神の子羊・主イエスに信頼するかどうか？

37

新約聖書における主の宣告

「御子を信じる者は**永遠のいのち**を持っているが、御子に聞き従わない者はいのちを見ることがなく、**神の怒り**がその上にとどまる。ヨハ 3:36」

「**罪の報酬は死**です。しかし神の賜物は、**私たちの主キリスト・イエス**にある**永遠のいのち**です。ロマ 6:23」

神の御子、イエス・キリストを信じる者は、
神の怒りから救われ、永遠のいのちを得る

38

永遠とは？

■人は永遠の神を思う 伝道者の書3:11 (口語訳)

「神のなされることは皆その時にかなって美しい。神はまた人の心に**永遠**を思う思いを授けられた。それでもなお、人は神のなされるわざを初めから終わりまで見きわめることはできない。」

■永遠の王・栄光の主イエスの宣言 黙示録22:13

「わたしはアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。初めであり、終わりである。」

永遠とは、
時を超越した神

永遠のいのちとは、永遠の神に、永遠に所有されること

39

主イエスを信じる者への永遠の約束・永遠のいのち

■永遠のいのちは、永遠の約束

「わたしは彼らに**永遠のいのち**を与えます。彼らは永遠に、決して滅びることがなく、また、だれも彼らをわたしの手から奪い去りはしません。ヨハネ10:28」

■永遠のいのちは、天の御国の栄光の体への復活

「わたしの父のみこころは、子を見て信じる者がみな**永遠のいのち**を持ち、わたしがその人を終わりの日に**よみがえらせる**ことなのです。ヨハネ6:40」

主イエスを信じた者は、天の栄光の体で永遠に生きる

40

子羊イエスの内にある 永遠のいのち

■ 黙示録7:16～17

「彼らは、もはや飢えることも渴くこともなく、太陽もどんな炎熱も、彼らを襲うことはない。御座の中央におられる**子羊**が彼らを牧し、**いのちの水**の泉に導かれる。また、神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださる。」

永遠のいのちを得て、希望と力をもって歩んで行こう

41

★ 永遠のいのちか 永遠の滅びか ★

- 私の罪を贖う犠牲の子羊として、十字架で死なれ、復活された、主イエスに信頼しよう。主が永遠のいのちを与えられる。
- 飢え乾きも、あらゆる苦痛も涙もない。栄光の主イエスの内にある、永遠のいのちが待っている。
- 主の約束に信頼し、従い歩むなら、御国を先取る恵みがある。試練の中でも主が守られる。いつでも主が共におられる。

神の国の前味を味わわされつつ、日々を歩んで行こう!!

42

てん どう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。」

わたし かみ みこ しゅ
私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

わたし えいえん しゅ えいえん みくに たみ
私は永遠に主のもの、永遠の御国の民とされました。

う かわ くつう なみだ えいえん やくそく
飢え乾きも苦痛も涙もない、永遠のいのちが約束されています。

かみ くに めぐ あじ しゅ ひび つか
神の国の恵みを味わわされつつ、主の日に遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」

43